

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・会議や研修について見直しているものの、コロナ感染症対応による職員の負担感、行事の変更等時間外勤務も前年度と比べてあまり変わらなかった。また、児童対応の事案については、他の外部機関との連携・協力により担任が一人で抱え込まない体制が整い、負担軽減につながることができた。

2 学校教育目標
かしこく やさしく たくましく
①かしこい子(主体的に学び、集団の中で生き生きと活動できる子ども) ②やさしい子(自分で考え行動し、他者と協力できる子ども) ③たくましい子(心も体も健康で粘り強い子ども)

3 本年度の重点目標
①全ての子どもが「活動する喜び」「分かる・できる喜び」「教え合い・学び合う喜び」「追求・工夫する喜び」を感じられる教育活動を推進し、学力の向上を図る。
②全ての子どもに「関わり合いの中で生き生きと学ぶ」機会を作り、「学校に行きたい」と思える期待感の向上を図る。

4 重点取組内容・成果指標

Table with 6 columns: 評価項目, 取組内容, 成果指標(達成目標), 具体的取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価. Contains detailed evaluation data for various categories like '学力の向上', '心の教育', '健康・体づくり', and '業務改善・教職員の働き方改革の推進'.

5 総合評価・次年度への展望
・職員会議をバーバース化したことは、業務改善への大きなきっかけとなった。しかし、年度当初は異動もあって多くの検討事項があり、紙媒体で確認する事も必要となってくる。バーバース化だけにこだわらず、両方の良さをバランスよく取り入れることが大事である。